平成 24 年 7 月 25 日

各　位

会 社 名　　株式会社エフティコミュニケーションズ
代表者名　　代表取締役社長　　平 崎 敏 之
（ＪＡＳＤＡＱ・コード番号：2763）
問合せ先　　執行役員社長室長　　山 本 博 之
電 話　　03（5847）2777（代表）

（訂正）「平成 22 年３月期 第２四半期決算短信」の一部訂正に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 7 月 24 日付「第三者調査委員会報告書の受領に関するお知らせ」で開示いたしましたとおり、平成 24 年 7 月 24 日付で受領しました最終報告書において、第三者委員会による調査・検討の結果、過年度における当社連結子会社の取引に関して指摘を受け、過年度決算訂正の必要性を認知することとなりました。調査結果の事実を精査した結果、当該取引の発生した平成 22 年 3 月期第 1 四半期からの会計処理内容についての事実関係に基づき、事実に則した会計処理への訂正をするため、決算短信等の訂正を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、訂正箇所につきましては下線を付して表示しております。

記

（百万円未満切捨て）

（訂正前）

1.　平成22年３月期第２四半期の連結業績（平成21年４月１日～平成21年９月30日）

（1）連結経営成績(累計)

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年３月期第２四半期	17,381	△11.9	271	—	280	—	104	—
21年３月期第２四半期	19,738	—	△73	—	△93	—	△578	—

	１株当たり四半期純利益		潜在株式調整後１株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年３月期第２四半期	1,123	58	1,116	88
21年３月期第２四半期	△7,786	21	—	

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
22年３月期第２四半期	13,237	4,130	24.0	29,526	20
21年３月期	13,931	3,761	19.3	31,323	39

（参考）　自己資本　　22年３月期第２四半期　3,175百万円　　21年３月期　2,695百万円

（訂正後）

1.　平成22年３月期第２四半期の連結業績（平成21年４月１日～平成21年９月30日）

（1）連結経営成績(累計)

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年３月期第２四半期	17,322	△12.2	267	—	280	—	104	—
21年３月期第２四半期	19,738	—	△73	—	△93	—	△578	—

	１株当たり四半期純利益		潜在株式調整後１株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年３月期第２四半期	1,123	58	1,116	88
21年３月期第２四半期	△7,786	21	—	

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
22年３月期第２四半期	13,237	4,130	24.0	29,526	20
21年３月期	13,931	3,761	19.3	31,323	39

（参考）　自己資本　　22年３月期第２四半期　3,175百万円　　21年３月期　2,695百万円

（訂正前）

【定性的情報・財務諸表等】

1.　連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年の米国金融危機に端を発した景気後退による先行き不透明感が払拭できない状況が続いており、企業のコスト削減活動の継続、個人消費の低迷、雇用環境の悪化などにより景気は総じて弱含みで推移しました。在庫調整の進展、外需の回復等による企業収益の改善などが一部にみられ、景気底入れ感はあるものの、当社グループを取り巻く経営環境は、予断を許さない状況が続いております。

こうしたなか、当第２四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、前年同四半期の 19,738 百万円から 11.9%減少し 17,381 百万円となりました。

また、前連結会計年度より引き続き推進しております、「経営改革」による収益力の向上とコスト削減により収益は改善され、営業利益は前年同四半期の 73 百万円の損失から 345 百万円増加し 271 百万円の利益となり、経常利益は前年同四半期の 93 百万円の損失から 373 百万円増加し 280 百万円の利益、四半期純損益は前年同四半期の 578 百万円の損失から 682 百万円増加し 104 百万円の利益となりました。

なお、各セグメントにおける業績は、下記のとおりであります。

（中略）

(マーキングサプライ事業)

国内景気低迷による企業業績の悪化から、企業経費削減の流れは加速し、国内外ともに厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当連結会計年度から環境に配慮した新商材の販売を開始いたしましたが、一部の新商材において立上げが遅れたこと等により売上高は大幅に減少いたしましたが、前年同四半期と比べコスト削減等により収益率が向上したことにより利益を確保することとなりました。

以上により、売上高は前年同四半期の 10,566 百万円から 8.4%減少し 9,681 百万円となり、営業利益は前年同四半期の 17 百万円から 252.4%増加し 62 百万円となりました。

（訂正後）

【定性的情報・財務諸表等】

1.　連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年の米国金融危機に端を発した景気後退による先行き不透明感が払拭できない状況が続いており、企業のコスト削減活動の継続、個人消費の低迷、雇用環境の悪化などにより景気は総じて弱含みで推移しました。在庫調整の進展、外需の回復等による企業収益の改善などが一部にみられ、景気底入れ感はあるものの、当社グループを取り巻く経営環境は、予断を許さない状況が続いております。

こうしたなか、当第２四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、前年同四半期の 19,738 百万円から 12.2%減少し 17,322 百万円となりました。

また、前連結会計年度より引き続き推進しております、「経営改革」による収益力の向上とコスト削減により収益は改善され、営業利益は前年同四半期の 73 百万円の損失から 340 百万円増加し 267 百万円の利益となり、経常利益は前年同四半期の 93 百万円の損失から 373 百万円増加し 280 百万円の利益、四半期純損益は前年同四半期の 578 百万円の損失から 682 百万円増加し 104 百万円の利益となりました。

なお、各セグメントにおける業績は、下記のとおりであります。

（中略）

(マーキングサプライ事業)

国内景気低迷による企業業績の悪化から、企業経費削減の流れは加速し、国内外ともに厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当連結会計年度から環境に配慮した新商材の販売を開始いたしましたが、一部の新商材において立上げが遅れたこと等により売上高は大幅に減少いたしましたが、前年同四半期と比べコスト削減等により収益率が向上したことにより利益を確保することとなりました。

以上により、売上高は前年同四半期の 10,566 百万円から 8.9%減少し 9,623 百万円となり、営業利益は前年同四半期の 17 百万円から 227.0%増加し 57 百万円となりました。

（訂正前）

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第２四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成20年４月１日 至 平成20年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成21年４月１日 至 平成21年９月30日）
売上高	19,738,208	17,381,014
売上原価	15,298,141	13,130,182
売上総利益	4,440,066	4,250,832
返品調整引当金戻入額	6,344	11,320
差引売上総利益	4,446,411	4,262,152
販売費及び一般管理費	4,519,958	3,990,369
営業利益又は営業損失（△）	△73,546	271,783
営業外収益		
受取ロイヤリティー	16,995	27,634
その他	32,865	32,801
営業外収益合計	49,861	60,436
営業外費用		
支払利息	57,295	39,967
その他	12,402	11,892
営業外費用合計	69,697	51,860
経常利益又は経常損失（△）	△93,382	280,359
特別利益		
貸倒引当金戻入額	－	5,380
デリバティブ評価益	74,910	－
その他	610	569
特別利益合計	75,521	5,949
特別損失		
減損損失	217,304	－
投資有価証券評価損	－	41,599
投資損失引当金繰入額	100,000	－
店舗閉鎖損失	43,727	－
その他	104,977	4,294
特別損失合計	466,009	45,894
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△483,871	240,413
法人税、住民税及び事業税	91,070	118,053
法人税等調整額	5,195	△1,109
法人税等合計	96,265	116,943
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△2,090	18,610
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△578,046	104,860

（訂正後）

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第２四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成20年４月１日 至 平成20年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成21年４月１日 至 平成21年９月30日）
売上高	19,738,208	17,322,514
売上原価	15,298,141	13,076,182
売上総利益	4,440,066	4,246,332
返品調整引当金戻入額	6,344	11,320
差引売上総利益	4,446,411	4,257,652
販売費及び一般管理費	4,519,958	3,990,369
営業利益又は営業損失（△）	△73,546	267,283
営業外収益		
受取ロイヤリティー	16,995	27,634
その他	32,865	37,301
営業外収益合計	49,861	64,936
営業外費用		
支払利息	57,295	39,967
その他	12,402	11,892
営業外費用合計	69,697	51,860
経常利益又は経常損失（△）	△93,382	280,359
特別利益		
貸倒引当金戻入額	－	5,380
デリバティブ評価益	74,910	－
その他	610	569
特別利益合計	75,521	5,949
特別損失		
減損損失	217,304	－
投資有価証券評価損	－	41,599
投資損失引当金繰入額	100,000	－
店舗閉鎖損失	43,727	－
その他	104,977	4,294
特別損失合計	466,009	45,894
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△483,871	240,413
法人税、住民税及び事業税	91,070	118,053
法人税等調整額	5,195	△1,109
法人税等合計	96,265	116,943
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△2,090	18,610
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△578,046	104,860

（訂正前）

(5) セグメント情報

1　事業の種類別セグメント情報

（中略）

当第２四半期連結累計期間(自　平成21年４月１日　至　平成21年９月30日)

	ソリューション事業（千円）	モバイル事業（千円）	サービス＆サポート事業（千円）	マーキングサプライ事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	6,327,370	781,817	657,859	9,613,967	17,381,014	—	17,381,014
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	19,012	—	24,809	67,988	111,810	(111,810)	—
計	6,346,382	781,817	682,669	9,681,956	17,492,824	(111,810)	17,381,014
営業利益	433,079	28,350	112,159	62,439	636,029	(364,246)	271,783

（後略）

（訂正後）

(5) セグメント情報

1　事業の種類別セグメント情報

（中略）

当第２四半期連結累計期間(自　平成21年４月１日　至　平成21年９月30日)

	ソリューション事業（千円）	モバイル事業（千円）	サービス＆サポート事業（千円）	マーキングサプライ事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	6,327,370	781,817	657,859	9,555,467	17,322,514	—	17,322,514
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	19,012	—	24,809	67,988	111,810	(111,810)	—
計	6,346,382	781,817	682,669	9,623,456	17,434,324	(111,810)	17,322,514
営業利益	433,079	28,350	112,159	57,939	631,529	(364,246)	267,283

（後略）